

パフォーマー名／くるくるシルク (2ページあります)

アート サーカス パフォーマンス
くるくるシルク

ご紹介

2000年に東京の劇団、汎マイム工房の3名の男達で結成されたサーカスパフォーマンス集団です。サーカスの本場であるフランスで巻き起こった、ヌーボ・シルク(新しいサーカス)のムーブメントに感化されて結成されました。ヌーボシルクは、古典的なサーカスに演劇、ダンス、現代美術、音楽などの新しい表現を加えて、前衛的なサーカスとしてヨーロッパを中心に現代でも広がっています。日本では、カナダを拠点とするサーカス集団シルク・ド・ソレイユが有名です。くるくるシルクは、サーカスを表現として、パントマイムやダンスで鍛えた肉体と表現力で、舞台公演や大道芸を行なっています。サーカスに出てくるライオンや象は登場しませんが、ジャグリングの道具を身体に身に付け猛獣に扮して登場したりします。さらに集団で行うジャグリングなどサーカスではお馴染みの芸も登場します。実際のサーカスとはまた違い、パントマイムの表現により、観客がイメージを膨らませながら想像して観ることが出来るサーカスです。



メンバー
構成



立川真也
Shinya Tatsukawa



藤居克文
Katsunori Fujii



高橋徹
Tohru Takahashi



奇想天外!!
サーカスパフォーマンス



藤居克文
Katsunori Fujii

高橋徹
Tohru Takahashi

立川真也
Shinya Tatsukawa



各種企画

- 舞台公演 (ホール公演・学校鑑賞会)
- ストリート パフォーマンスショー
- ファイヤーバージョン
- クリスマス、お正月バージョン
- ワークショップ講師 (パントマイム、ジャグリング、バルーン)

レパートリ

- パントマイム、人形振り
- ジャグリング (ポール、クラブ、ハット、ティアポロ、シェーカーカップ、血回し、シガーボックス、ファイヤーートーチ)
- 足長 ●一輪車 (ノーマル、ロング)
- 火吹き ●シャボン玉 ●綱渡り
- ダンス、タップダンス、アクロバット
- バルーンアート ●ピエロマジック

■主な活動・出演歴
2000年「くるくるシルク」結成 / 2002年東京都
ヘブンアーティスト ライセンス取得
T V : BS NHK「おかあさんといっしょ」(ファミリ
ーコンサート) 4年間レギュラー / テレビ東京「お
はスタ」/ NHK「お昼ですよ!」
WEBCM: Philips P V : 安藤優子「HAPPY」
S.C : 海老名ビナウオーク、横浜港南台パ
ーズ、東急百貨店、イトーヨーカド、イオンモ
ール
美術館: 箱根彫刻の森美術館 / 川崎ミュージア
ム / 熱海MOA美術館
お祭り : アークヒルズ秋祭り
その他 : 豊橋植物公園のんほいパーク / 六本
ヒルズ / 伊勢崎オートシルクカップ
大道芸フェスティバル:
静岡大道芸 2010年ワールドカップ部門出場
ヨコハマ大道芸 / 大須大道芸 / 町田大道芸 /
舞台公演 : 自主公演企画 毎年劇場にて / 横浜
演劇祭 / 北池袋演劇祭 / 下北沢演劇祭 / 渋谷児
童館 / おやこ劇場 / 松本市民芸術館 / 松本子ど
ものための映画祭
海外公演 : エジソンバラ / オランダ / ドイツ /
ベルギー / アニア / シンガポール / 台湾 / 韓国 /
タイ / エクアドル

※上記レパートリは可能演目ですが、通常の進行に含まれていないもの、
組み合わせ不可能なもの、状況などによって制約があるものなども含まれております。詳しくはお問い合わせ下さい。

Art Circus Performance

アート・サーカス・パフォーマンス

くるくるシルク

CRU CRU CIRQUE

くるくるシルク

2000年に、パントマイム劇団汎マイム工房の
パフォーマー3名の男たちで結成されました。
シルクとは、フランス語でサーカスの事。

くるくるとはくるくるの事。

サーカスの本場フランスで巻き起こるヌーヴォー
シルク-Nouveau Cirque(新しいサーカス)
に魅せられてこの名が付けられました。

3人の個性溢れるキャラクターが、パントマイム
やダンスで鍛えた肉体と、ジャグリングなどのサー
カス芸を駆使して笑いと感動の舞台を繰り広
げます。言葉の無いマイムの肉体とサーカス芸
の融合により生み出される、ドラマを持ったコン
テンポラリーな不思議空間をとくにご覧下さい。

PROFILE



注目!!

くるくるシルクに、フランスのサーカスで活躍していた
金井圭介を加えた「くるくるシルクDX」も出演可能です。
別途お問合せください。

くるくるシルク DX
CRU CRU CIRQUE DX



■主な経歴

劇団汎マイム工房所属(2000年~2011年)※海外公演などが多くなってきたため、さらに活動範囲を広げていくため2012年劇団から独立する。

〈主な受賞歴〉

日テレアート大道芸フェスティバル 優秀アーティスト賞受賞
日テレアート大道芸フェスティバル スペシャルアーティスト賞受賞
東京都ヘブナーアーティストライセンス取得
2010年 静岡大道芸ワールドカップ日本代表の1組に選ばれる。

〈文化庁などからの助成公演実績〉

2002年 芸術文化振興基金助成事業公演 「くるくるシルク vol.3」
2003年 芸術文化振興基金助成事業公演 「くるくるシルク vol.4」
文化庁国際芸術交流支援事業公演 「星屑のヴォワイヤージュ」
(ヌーボシルクの芸人を招聘しての日仏合作公演)

2005年 芸術文化振興基金助成事業公演 「くるくるシルク vol.5」
2007年 文化庁芸術創造活動重点支援事業公演 「くるくるシルク vol.7」
2009年 文化庁芸術創造活動重点支援事業公演 「くるくるシルク vol.8」
2010年 文化庁芸術創造活動特別推進事業公演 「くるくるシルク vol.9」
加えて、文化庁優れた芸術家派遣事業員として全国の小学校などでパントマイム、ジャグリングのワークショップを行う。

〈海外公演実績〉

2004年 スコットランド エジンバラ フリンジフェスティバル自主参加
2007年 シンガポール フェスティバル「Variete Street Theatre」招待参加
2008年 ドイツ ハノーファー フェスティバル「Little Festival in Great Garden」招待参加
2009年 ベルギー イーベル フェスティバル「De Geveugelde Stad Ieper 2010」招待参加
2010年 ヨーロッパツアー ドイツ・リトアニア・オランダ 全6箇所全て招待参加
ドイツ(ハノーファー)→リトアニア(クライペダ)→ドイツ(リュエベック)→ドイツ(パッド・ピアメント)→オランダ(テルキャンブ、デンハム)

2011年 台湾 華山 1914「International Circus Festival 2011」※くるくるシルク DXとして招待参加
2012年 韓国 水華 国際演劇フェスティバル ※くるくるシルク DX 招待参加
2012年 タイ バンコク 「Siam street fest 2012」※くるくるシルク DX 招待参加
2013年 タイ バンコク 「Pantomime in bangkok 2013」招待参加
国際交流基金 文化芸術交流海外派遣事業 エクアドル公演 招待公演
タイ バンコク 「Siam street fest 2013」※くるくるシルク 招待参加
2015年 タイ バンコク 「Siam street fest 2015」※くるくるシルク 招待参加

〈国内での主な公演実績〉

おやこ劇場、子ども劇場、学校芸術鑑賞会、大学学園祭、
市民芸術鑑賞会(財団法人 日本青少年文化センター主催)
松本市民芸術館主催公演&ワークショップ(財団法人 松本市教育文化振興財団主催)、
釧路芸術館、箱根彫刻の森美術館、川崎市民ミュージアム、熱海 MOA 美術館、
六甲ミーツーツ 2011、松本子どもたちの映画祭、松本市民芸術館主催「子供の庭」
静岡大道芸フェスティバル、ヨコハマ大道芸フェスティバル、札幌だいでん祭、
大須町人祭、千葉大道芸祭、東京都ヘブナーアーティストフェスティバル

〈イベント出演〉

展示会、ショッピングセンター、お祭り、TV、PV、コンサートなど
BS「おかあさんといっしょ」ファミリーコンサート2006年~2009年度まで出演。

